



南条つ子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和4年6月10日発

第14号



読み聞かせ開始

6月9日(木)、図書ボランティア(ブックマ)の方による読み聞かせが始まりました。今回は、1年1組、2組、2年1組の3クラスで行われました。子どもたちは、みんな楽しそうに、真剣に話を聴いていました。

この読み聞かせですが、何年も前からボランティアの方のご厚意で続いています。大変ありがたいことです。今後も、毎週木曜日に行われる予定ですので、楽しみに待っててください。



1年1組



ピーマンなんて、食べたくない。だれか、代わりに食べてくれないかなあ。りょうたくんがそう思ったとき、コップの後ろからひょっこり、「彼」は現れたのです。「ぼくはちいさなりょうたくん。いやなものは、ぼくが食べてあげるよ。」りょうたくんが差し出すものを、好き嫌いなく何でも食べてくれる、小さなりょうたくん。ところが、食べれば食べるほど、彼の様子がだんだんおかしくなってきました...



1年2組



ペンギンのたまごにいちゃんは、たまごの殻がついたまま、おかあさんにいつもくっついていました。けれど、ある時、おかあさんが倒れていつまでも起き上がらないので、たまごにいちゃんは、ついに殻から出る決意をします。そうして、倒れたおかあさんを背負って家まで帰ります。



2年1組



ぼく、ポンちゃん。きょうね、うさぎさんたちの、とっても素敵なダンスを見たんだよ。ぼくもいっしょに踊りたいなあ。でもぼく、たぬき。どうしたらいい? そこで、うさぎに化けようと思いますが、どうしてもうまくいきません。うさぎに化けるには、うさぎの好きなものを好きにならないといけないのかも。そこで...

租税教室(6年生)

6月9日(木)、鯖江市から公認会計士の竹内さんに来ていただき、6年生を対象に租税教室を行い、税金の種類や使われ方などについて教えていただきました。公立の小学校の児童1人あたりに、年間約90万円の税金が使われていることや、税金が約50種類もあることを知り、驚いていました。また、次のような課題が出され、どのようにお金を出し合ったら良いかについてグループで話し合い、代表が発表しました。

サザエさん、カツオくん、ワカメちゃんの3人がお金を出し合って、フネさんに300円のプレゼントを買うことになりました。サザエさんは700円、カツオくんは50円、ワカメちゃんは250円持っています。それぞれいくら出すと良いでしょうか。

サザエさんは大人だし、一番たくさんお金を持っているから、サザエさんが300円全部出すという意見や、持っている金額が多い人ほど多く出す(出す金額はグループごとに違っていましたが)という意見など、いろいろ出ました。この課題を考えることが税金とどのように関連しているか、興味がある人は調べてほしいと思います。また、高学年の人は、算数の考え方で、持っている金額に応じて不公平にならないように出すとしたら、それぞれいくらずつ出すと良いのか、考えてみてください。(ヒント:カツオくんは15円出すことになります。)



【お子様の言葉づかいはいかがですか】

ゲームやテレビの影響なのか、相手がどう思うかあまり深く考えずに、ひどい言葉を投げかけていることがあります。(言われた人が深く傷付いていることがあります。) また、自らの人、教員に対する話し方を意識できていない子もいます。子どもたちには「良い言葉」や「温かい言葉」をつかったり、学年が上がるにつれて、敬語を自然につかたりできるようになってほしいと思います。ご家庭でも気になる言葉づかい(特に人権侵害やいじめにつながる言葉など)があったら、見逃さず、必ず注意してください。

ひとつのことば 北原白秋

ひとつのことばでけんかして
ひとつのことばで頭が下がり
ひとつのことばで楽しく笑い
ひとつのことばはそれぞれに
きれいなことばはきれいな心
ひとつのことばを大切に

ひとつのことばでなかなかおり
ひとつのことばで心が痛む
ひとつのことばで泣かされる
ひとつの心を持っている
やさしいことばはやさしい心
ひとつのことばを美しく